

とうきょう すくわくプログラム 活動報告書

 項目	 内容
 テーマ	リトミック
 テーマの設定理由	本園では、リトミック講師によるリトミック活動を定期的に行っている。ピアノの音や音楽を聞いた時に、子ども達一人ひとりが違った身体表現をしながら楽しむ姿があった。そのような姿から、子ども達が「音」についてどのように感じているのかを保育者が理解することで、子どもの興味関心に合わせた保育を行うことが出来ると考え、テーマに設定した。

3. 活動スケジュール

 内容	 使用楽曲活動
6月 基礎のリズム／拍と拍子	 まるいたまご／  お花が笑った
7月 基礎のリズム／拍と拍子	 たんじたんじ／  でんでん虫
9月 基礎のリズム／拍と拍子	 あがりめさがりめ／  海あそび
10月 基礎のリズム／拍と拍子	 チョッとグッとパー／  山のぼり
11月 基礎のリズム／リズムパターン	 おせんべやけたかな／  どんぐり拾い
12月 基礎のリズム／リズムパターン	 いとまきのうた／  既成曲での動き
1月 基礎のリズム／フレーズを感じる	 オモヤノモチツキ／  おもちつき
2月 基礎のリズム／テンポの変化	 たんぽぽ／  電車ごっこ
3月 基礎のリズム／テンポの変化	 合奏／  まとめ動き

4. 探究活動の実践

- ・ カスタネットや鈴、タンバリンなどの楽器をリトミック講師と相談し準備。ピアノの足にマットを置くなど、安全面にも配慮して環境を整えた。
- ・ 正しい楽器の持ち方や鳴らし方を個別に伝え、一緒にできるよう援助した。
- ・ 2人組で行う活動では、保育者が間に入り、スムーズにペアが組めるよう援助した。
- ・ 活動を重ねる中で、音の強弱やスピードに合わせて動きを変えたり、楽器の使い方を友だち同士で教え合う姿も見られた。

5. 振り返り

- ・ 1学期では講師の動きを真似する姿が多かったが、3学期には「こうしたい！」という子ども達からの提案が増え、自発的に活動を楽しむ様子が見られた。

- ・ 同じ活動が2回行われたことで、2回目は動きに慣れてより楽しむ様子が見られた。
- ・ 回数を重ねるごとに、保育者が介入せずともスムーズに2人組が作れるようになった。
- ・ リトミック活動だけでなく、自由遊びの中でも楽器に触れられる環境を用意していれば、さらに楽器に親しみを持ち、活動を楽しめたのではないかと感じた。

